

2011年度第2四半期 決算説明資料

2011年11月2日
旭化成株式会社

1. 2011年度上期実績

主要決算数値	P4～P5
連結損益計算書	P6
金融収支・有利子負債残高	P7
特別損益	P8
連結貸借対照表	P9
連結キャッシュ・フロー計算書 設備投資額、減価償却費、研究開発費	P10
セグメント別売上高・営業利益	P11～P14

2. 2011年度業績予想

当期の業績予想	P16
セグメント別売上高・営業利益	P17～P18

3. 参考資料

連結包括利益計算書	P20
セグメント別業績推移	P21～P22
セグメント別設備投資額、 減価償却費、研究開発費	P23
設備投資件名	P24
セグメント別概況	P25～P37
グループ融合プロジェクト関連のトピックス	P38

1. 2011年度上期実績

主要決算数値(1)

(億円)

	10年度上期	11年度上期	
	a	実績 b	従来予想*c
売上高	7,648	8,022	8,100
(内、海外売上高)	(2,251)	(2,278)	—
営業利益	635	638	605
経常利益	596	621	600
四半期純利益	285	382	350

対前年同期 (b-a)		対従来予想 (b-c)	
増減額	増減率	増減額	増減率
374	4.9 %	-78	-1.0 %
(27)	(1.2 %)	—	—
2	0.4 %	33	5.4 %
26	4.3 %	21	3.6 %
97	34.3 %	32	9.2 %

* 11年度第1四半期決算発表時(11年8月2日)の予想

	11/3月末 a	11/9月末 b	増減 b-a
総資産	14,259	14,033	-226
自己資本	6,636	6,954	318
有利子負債残高	2,539	1,945	-595
D/Eレシオ	0.38	0.28	-0.10

主要決算数値(2)

	10年度上期	11年度上期
一株当たり配当金	5 円	7 円
一株当たり純利益(EPS)	20.36 円	27.33 円
一株当たり純資産(BPS)	458.29 円	497.50 円

<連結対象範囲>

連結子会社数	102	103
持分法適用会社数	48	48

ナフサ価格(国産ナフサ:¥/kl)	46,150	56,950
為替レート(相場平均:¥/US\$)	89	80

期末人員	25,150 人	25,283 人
------	----------	----------

連結損益計算書

(上段: 百分率、% 下段: 金額、億円)

	10年度上期	11年度上期	増減	増減率(%)
売上高	100.0% 7,648	100.0% 8,022	374	4.9
売上原価	73.7% 5,633	74.3% 5,959	326	5.8
売上総利益	26.3% 2,015	25.7% 2,063	48	2.4
販管費	18.0% 1,380	17.8% 1,425	45	3.3
営業利益	8.3% 635	7.9% 638	2	0.4
営業外損益	-39	-16	23	
(内、金融収支)	(-0)	(7)	(7)	
(内、持分法投資利益)	(11)	(9)	(-2)	
(内、為替差損)	(-36)	(-25)	(11)	
経常利益	7.8% 596	7.7% 621	26	4.3
特別損益	-132	-31	101	
税前利益	6.1% 464	7.4% 591	127	27.4
法人税等	-169	-200	-31	
少数株主損益	-10	-8	2	
四半期純利益	3.7% 285	4.8% 382	97	34.3

金融収支・有利子負債残高

(1) 金融収支

(億円)

	10年度上期	11年度上期	増減
支払利息	-17	-14	3
受取利息	5	7	2
受取配当金	12	15	3
その他	-0	-0	-0
合 計	-0	7	7

(2) 有利子負債残高

(億円)

	10/9月末	11/3月末	11/9月末	11/3比増減
短期借入金	1,017	1,089	645	-444
コマーシャルペーパー	210	230	140	-90
長期借入金	1,077	917	853	-64
社債	250	250	250	-
リース債務	49	53	57	3
合 計	2,603	2,539	1,945	-595

特別損益

(億円)

	10年度上期	11年度上期	増減
投資有価証券売却益	－	1	1
固定資産売却益	0	3	3
特別利益	0	4	4
投資有価証券評価損	4	5	1
固定資産処分損	23	14	－9
減損損失	0	2	1
環境対策費	7	－	－7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12	－	－12
災害による損失	－	9	9
事業構造改善費用	86 [*]	6	－80
特別損失	132	35	－97
特別損益	－132	－31	101

*アンモニア、ベンゼンの生産停止に伴う費用等

連結貸借対照表

AsahiKASEI

(億円)

	11/3月末	11/9月末	増減		11/3月末	11/9月末	増減
流動資産	7,557	7,372	-184	負債	7,503	6,959	-544
現金及び預金	1,403	1,015	-388	流動負債	4,899	4,432	-466
受取手形及び売掛金	2,734	2,574	-160	固定負債	2,604	2,526	-78
棚卸資産	2,562	2,914	351	純資産	6,756	7,074	318
その他	857	869	12	株主資本	6,594	6,892	298
固定資産	6,702	6,661	-42	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,184	4,187	3	資本剰余金	794	794	0
無形固定資産	311	301	-10	利益剰余金	4,787	5,087	301
投資その他の資産	2,208	2,173	-35	自己株式	-21	-24	-2
				その他の包括利益累計額	42	62	20
				少数株主持分	120	120	0
資産合計	14,259	14,033	-226	負債純資産合計	14,259	14,033	-226

連結キャッシュ・フロー計算書、 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(1) 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	10年度上期	11年度上期
営業活動によるキャッシュ・フロー①	493	631
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-374	-386
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	119	245
財務活動によるキャッシュ・フロー④	-119	-700
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	-21	3
現金及び現金同等物の減少額⑥(③+④+⑤)	-21	-451

現金及び現金同等物の期首残高⑦	931	1,345
連結の範囲の変更に伴う増加額⑧	9	15
関係会社の報告期間変更に伴う増加額⑨	-	5
現金及び現金同等物の四半期末残高(⑥+⑦+⑧+⑨)	919	913

(2) 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	10/上	10年度	11/上	11年度予
設備投資額(有形)	301	601	341	870
設備投資額(無形)	21	59	35	80
設備投資額計	322	660	376	950
減価償却費	409	852	383	810
研究開発費	307	623	320	660

セグメント別売上高・営業利益

(億円)

	売 上 高			営業利益			11/上従来予想*	
	10年度上期	11年度上期	増減	10年度上期	11年度上期	増減	売上高	営業利益
ケミカル	3,650	3,778	128	373	341	-32	3,890	350
住宅	1,735	2,000	264	101	179	78	1,920	150
医薬・医療	578	600	22	42	56	14	600	45
繊維	546	561	16	23	21	-2	550	20
エレクトロニクス	832	775	-56	107	70	-37	810	75
建材	234	222	-12	11	8	-4	240	10
その他	74	85	11	8	12	4	90	10
消去又は全社	-	-	-	-30	-50	-20	-	-55
合 計	7,648	8,022	374	635	638	2	8,100	605

* 11年度第1四半期決算発表時(11年8月2日)の予想

セグメント別海外売上高

(億円)

	10年度上期			11年度上期			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率(%)		金額	比率(%)	金額	伸び率(%)
ケミカル	3,650	1,504	41.2	3,778	1,542	40.8	38	2.5
住宅	1,735	—	—	2,000	—	—	—	—
医療・医薬	578	135	23.4	600	153	25.4	18	13.1
繊維	546	192	35.2	561	182	32.4	-10	-5.2
エレクトロニクス	832	415	49.9	775	395	51.0	-20	-4.8
建材	234	—	—	222	—	—	—	—
その他	74	4	6.0	85	6	7.3	2	39.1
合 計	7,648	2,251	29.4	8,022	2,278	28.4	27	1.2
東アジア地域*への売上高		1,456	19.0		1,448	18.1	-7	-0.5
(内、中国への売上高)		817	10.7		753	9.4	-65	-7.9

<参考>

住宅・建材を除いた売上高 5,678 2,251 39.6 5,800 2,278 39.3

* 中国、韓国、台湾

セグメント別売上高・営業利益増減要因(1) **AsahiKASEI**

(億円)

		10年度上期	11年度上期	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
ケミカル	売上高	3,650	3,778	128	10	173	-91	-55	-
	営業利益	373	341	-32	2			-	-207
住宅	売上高	1,735	2,000	264	235	0	-	30	-
	営業利益	101	179	78	78			-	-0
医薬・医療	売上高	578	600	22	50	-14	-3	-13	-
	営業利益	42	56	14	36			-	-7
繊維	売上高	546	561	16	16	-0	-11	0	-
	営業利益	23	21	-2	2			-	-3

セグメント別売上高・営業利益増減要因(2) **AsahiKASEI**

(億円)

		10年度上期	11年度上期	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
エレクトロニクス	売上高	832	775	-56	52	-109	-20	0	-
	営業利益	107	70	-37	45			-	27
建材	売上高	234	222	-12	-10	-2	-	0	-
	営業利益	11	8	-4	-4			-	2
その他	売上高	74	85	11	11	0	0	0	-
	営業利益	8	12	4	3			-	1
消去又は全社	営業損失	-30	-50	-20	-	-	-	-	-20
合 計	売上高	7,648	8,022	374	364	48	-124	-38	-
	営業利益	635	638	2	162			-	-207

2. 2011年度業績予想

当期の業績予想

(億円)

	10年度			11年度			増減 b-a	11年度 当初計画* c	増減 b-c
	上	下	計a	上実績	下予想	計b			
売 上 高	7,648	8,336	15,984	8,022	8,818	16,840	856	17,240	-400
営 業 利 益	635	594	1,229	638	602	1,240	11	1,200	40
経 常 利 益	596	586	1,182	621	634	1,255	73	1,225	30
当期純利益	285	318	603	382	363	745	142	690	55

* 11年5月時点の予想

ナフサ価格(国産ナフサ¥/kl)	46,150	48,750	47,450	56,950	50,000	53,475	6,025	60,000	-6,525
為替レート(相場平均¥/\$)	89	82	86	80	77	78	-8	80	-2

	10年度	11年度
1株当たり年間配当金	11円	14円 (予定)
配当性向	25.5%	26.3%

セグメント別売上高

AsahiKASEI

(億円)

	10年度			11年度			増減
	上	下	計a	上実績	下予想	計b	b-a
ケミカル	3,650	3,773	7,422	3,778	3,892	7,670	248
住宅	1,735	2,357	4,092	2,000	2,530	4,530	438
医薬・医療	578	586	1,164	600	640	1,240	76
繊維	546	542	1,088	561	579	1,140	52
エレクトロニクス	832	752	1,583	775	805	1,580	-3
建材	234	240	474	222	268	490	16
その他	74	86	160	85	105	190	30
合 計	7,648	8,336	15,984	8,022	8,818	16,840	856

11年度当初計画*			増減(対今回予想)		
上	下	計	上	下	計
4,000	4,000	8,000	-222	-108	-330
1,920	2,530	4,450	80	-	80
610	630	1,240	-10	10	-
550	580	1,130	11	-1	10
830	860	1,690	-55	-55	-110
270	270	540	-48	-2	-50
90	100	190	-5	5	-
8,270	8,970	17,240	-248	-152	-400

* 2011年5月時点の予想

セグメント別営業利益

(億円)

	10年度			11年度			増減 b-a	11年度当初計画*			増減(対今回予想)		
	上	下	計a	上実績	下予想	計b		上	下	計	上	下	計
ケミカル	373	270	644	341	239	580	-64	270	275	545	71	-36	35
住宅	101	264	365	179	291	470	105	130	290	420	49	1	50
医薬・医療	42	29	70	56	29	85	15	45	35	80	11	-6	5
繊維	23	19	42	21	14	35	-7	15	25	40	6	-11	-5
エレクトロニクス	107	35	143	70	50	120	-23	75	80	155	-5	-30	-35
建材	11	10	21	8	17	25	4	15	20	35	-7	-3	-10
その他	8	9	17	12	13	25	8	10	10	20	2	3	5
消去又は全社	-30	-42	-72	-50	-50	-100	-28	-55	-40	-95	5	-10	-5
合 計	635	594	1,229	638	602	1,240	11	505	695	1,200	133	-93	40

* 2011年5月時点の予想

3. 参 考 資 料

連結包括利益計算書

AsahiKASEI

(億円)

	10年度上期	11年度上期	増減
少数株主損益調整前四半期純利益①	295	391	96
その他有価証券評価差額金	-76	14	90
繰延ヘッジ損益	1	3	3
為替換算調整勘定	-49	5	54
持分法適用会社に対する持分相当額	-20	-5	16
その他の包括利益合計②	-145	17	162
四半期包括利益(①+②)	150	408	258

(内訳)

親会社株主に係る四半期包括利益	143	402	259
少数株主に係る四半期包括利益	7	6	-2

セグメント別売上高推移

(億円)

	09年度				10年度				11年度		11年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	下期 予想
ケミカル	1,329	1,603	1,590	1,698	1,784	1,866	1,899	1,874	1,860	1,918	3,892
住宅	585	992	960	1,360	645	1,090	905	1,452	792	1,208	2,530
医薬・医療	285	278	296	273	287	290	305	281	294	306	640
繊維	224	263	259	266	265	281	271	271	277	284	579
エレクトロニクス	315	370	374	368	409	422	384	367	398	378	805
建材	116	130	124	101	110	124	137	103	101	122	268
その他*	39	57	38	43	35	39	37	49	40	45	105
合 計	2,893	3,693	3,641	4,109	3,535	4,113	3,939	4,396	3,761	4,260	8,818

* 10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。

セグメント別営業損益推移

(億円)

	09年度				10年度				11年度		11年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	下期 予想
ケミカル	22	93	103	42	153	220	166	105	194	147	239
住宅	-30	71	67	145	-9	110	79	185	36	143	291
医薬・医療	31	3	29	-23	33	8	35	-6	26	30	29
繊維	-15	-14	-0	1	12	11	13	6	14	7	14
エレクトロニクス	-6	34	26	18	52	55	32	4	48	22	50
建材	-0	6	11	-5	3	8	13	-3	2	5	17
その他*	4	6	1	7	3	5	2	7	4	8	13
消去又は全社	-10	-17	-17	-9	-20	-10	-28	-14	-22	-27	-50
合 計	-3	183	220	177	228	407	310	284	302	335	602

* 10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。また、「サービス・エンジニアリング等」セグメントに含めていた一部の連結子会社の営業費用を10年度第1四半期より「消去又は全社」に移管。(売上高への影響はなく、営業利益への影響は軽微。)

セグメント別設備投資額、減価償却費、研究開発費 **AsahiKASEI**

(億円)

	設備投資額			減価償却費			研究開発費		
	10年度	11/上	11年度 予想	10年度	11/上	11年度 予想	10年度	11/上	11年度 予想
ケミカル	232	180	430	319	144		155	79	
住宅	63	26	80	43	23		20	10	
医薬・医療	74	58	150	114	53		165	81	
繊維	37	17	60	70	31		32	14	
エレクトロニクス	203	71	150	239	102		184	95	
建材	17	9	50	28	12		11	6	
その他	10	3	10	9	4		3	1	
消去又は全社	25	13	20	31	14		54	33	
合 計	660	376	950	852	383	810	623	320	660

<11年度上期完工件名>

- ・「ハイポアTM」製造設備能力増強
(2,000万m²/年、1,500万m²/年、日向)
- ・医療材料研究所新設
(10/11～11/6、延岡)

○: 投資額30億円以上

<11年度上期末時点 工事中件名>

- ・ナイロン66樹脂「レオナTM」の高融点グレード量産
体制確立のための生産設備改造
(10/11～12/3、延岡)
- ・木質バイオマス発電設備新設
(10/2～12/7、延岡)
- ・スパンボンド不織布の製造設備新設
(11/8～12/9、2万トン/年、タイ)
- ・アクリロニトリルの製造設備能力増強
(11/6～13/1、24.5万トン/年、韓国(東西石油化学株))
- ・「ハイポアTM」製造設備能力増強
(13/3、5,000万m²/年、日向)
- ・溶液重合法SBR製造設備新設
(11/7～13/5、5万トン/年、シンガポール)

(億円)

<概況>

・汎用系事業

<モノマー系事業>

期前半に好調だったアクリロニトリルなどの交易条件が期後半に悪化したことなどから、前年同期比増収、減益となった。

<ポリマー系事業>

タイヤ向け合成ゴムなどが好調に推移したものの、エンジニアリング樹脂は国内自動車生産台数減少により販売量が減少し、原燃料価格高騰の影響も受けたことなどから、前年同期比増収、営業利益は前年同期並となった。

・高付加価値系事業

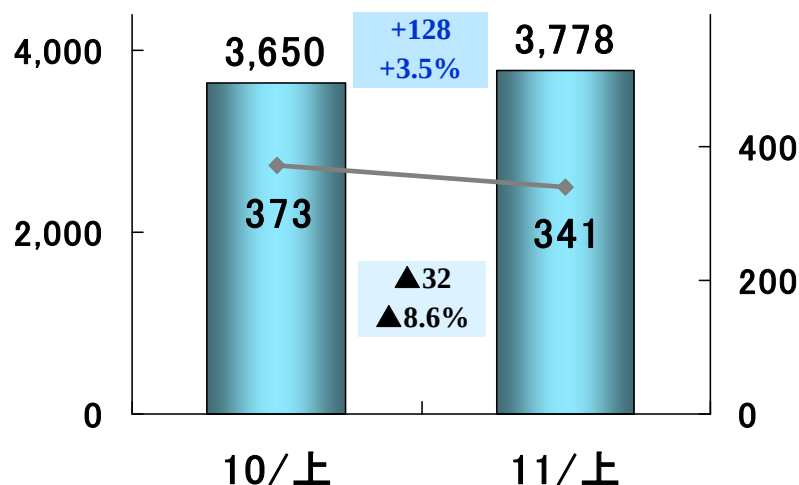
「サランラップTM」などの消費材やイオン交換膜などが堅調に推移したことから、前年同期比増収、増益となった。

<トピックス>

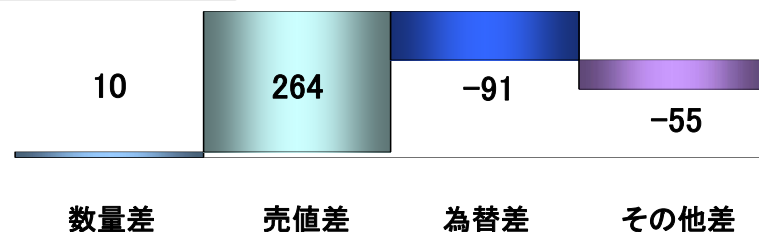
- ・サウジアラビアにおけるアクリロニトリル事業化検討のため、サウジアラビア基礎産業公社(SABIC)、三菱商事(株)と合併会社の設立を決定。(4月)

売上高

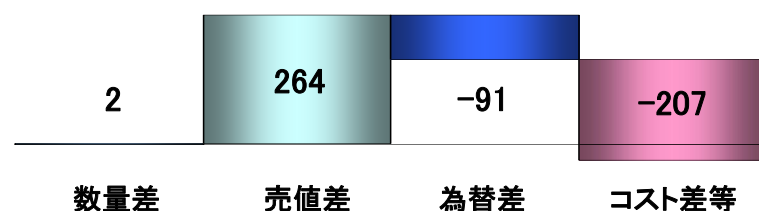
営業利益

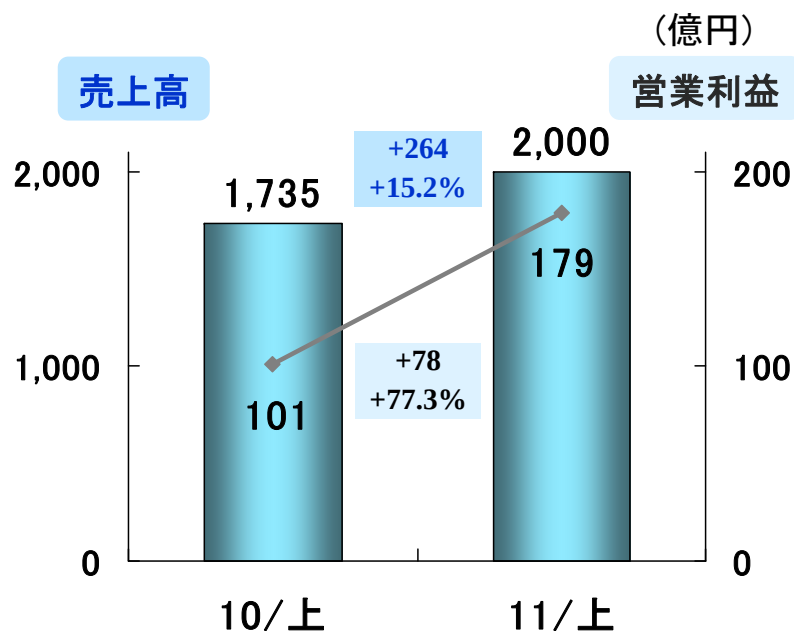


売上高増減分析



営業利益増減分析





事業別増減分析

(億円)

	10/上		11/上		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負	1,255		1,459		204	
分譲	94		119		25	
他	11		15		4	
小計	1,360	75	1,593	148	234	73
住宅周辺	375	26	406	31	31	5
合計	1,735	101	2,000	179	265	78

※上記事業別業績数値は参考情報として簡便計算で算出。

<概況>

- ・建築請負事業・分譲事業
- ・建築請負事業において、戸建住宅「ヘーベルハウス™」や集合住宅「ヘーベルメゾン™」の引渡戸数が増加したことや、分譲事業において、分譲マンションの売上が増加したことなどから、前年同期比増収、増益となった。
- ・建築請負事業の受注高は、新商品の発売や政府の住宅取得促進施策の効果などにより、順調に受注戸数を伸ばし、前年同期比4.2%の増となった。
- ・住宅周辺事業(リフォーム、不動産など)
リフォームの受注拡大、不動産の賃貸管理戸数増などにより、前年同期比増収、増益となった。

<トピックス>

- ・2階リビングと一体となった半屋外空間「そらのま」を提案する「ヘーベルハウス™ そらのま+(プラス)」を発売。(4月)
- ・ペット共生型賃貸住宅「ヘーベルメゾン™ +わん+にゃん」を発売。(6月)
- ・不動産関連事業を統合し、旭化成不動産レジデンス(株)を設立、営業開始。(10月)
- ・2階建プラスアルファの空間で家族の絆を深める都市型住宅「ヘーベルハウス™ スカイコテージのある家 天空こども城」を発売。(11月)

住宅(1)

1. 売上高、受注高の状況

(単位: 億円、()内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高*	他†	関係会社等	連結計	受注残
07	上期	1,536 (▲1.5%)	1,312 (▲2.6%)	50 (▲16.5%)	4	303 (8.2%)	1,669 (▲1.3%)	3,123
	下期	1,525 (3.5%)	1,659 (▲9.3%)	195 (▲15.1%)	5	333 (10.3%)	2,193 (▲7.3%)	2,988
	通期	3,061 (0.9%)	2,971 (▲6.5%)	245 (▲15.4%)	10	637 (9.5%)	3,862 (▲4.8%)	
08	上期	1,571 (2.3%)	1,294 (▲1.4%)	60 (19.7%)	7	343 (13.2%)	1,703 (2.0%)	3,266
	下期	1,339 (▲12.1%)	1,779 (7.2%)	240 (22.8%)	9	369 (10.8%)	2,396 (9.3%)	2,826
	通期	2,911 (▲4.9%)	3,073 (3.4%)	299 (22.2%)	15	712 (11.8%)	4,099 (6.1%)	
09	上期	1,546 (▲1.6%)	1,158 (▲10.5%)	52 (▲12.6%)	8	358 (4.4%)	1,577 (▲7.4%)	3,213
	下期	1,523 (13.7%)	1,665 (▲6.4%)	269 (12.4%)	11	375 (1.7%)	2,320 (▲3.2%)	3,071
	通期	3,069 (5.4%)	2,823 (▲8.1%)	321 (7.4%)	19	734 (3.0%)	3,897 (▲4.9%)	
10	上期	1,817 (17.6%)	1,255 (8.3%)	94 (79.8%)	11	375 (4.8%)	1,735 (10.0%)	3,634
	下期	1,728 (13.4%)	1,766 (6.1%)	184 (▲31.7%)	15	392 (4.5%)	2,357 (1.6%)	3,595
	通期	3,545 (15.5%)	3,021 (7.0%)	278 (▲13.6%)	25	768 (4.6%)	4,092 (5.0%)	
11	上期	1,894 (4.2%)	1,459 (16.3%)	119 (26.5%)	15	406 (8.3%)	2,000 (15.2%)	4,030
	下予	1,741 (0.8%)	1,930 (9.3%)	136 (▲26.0%)	464 (13.9%)		2,530 (7.3%)	3,841
通期見通し		3,635 (2.6%)	3,390 (12.2%)	255 (▲8.3%)	885 (11.6%)		4,530 (10.7%)	

* 不動産関連事業を統合し旭化成不動産レジデンスを設立したことから、分譲売上高は2011年度下期から旭化成ホームズの分譲事業と旭化成不動産レジデンスの開発事業を合計して表示

† 損害保険販売手数料収入等

2. 2011年度上期 用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄: 前年同期比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸建系	低層	944	11.7%	3,111	15.0%	1,119	3.0%	3,779	4.6%
	中層	319	24.2%	1,148	21.2%	444	-0.2%	1,741	-3.9%
	小計	1,263	14.6%	4,259	16.6%	1,563	2.1%	5,520	1.8%
集合系	低層	57	14.6%	462	7.4%	118	21.4%	964	12.7%
	中層	140	34.6%	1,195	29.0%	213	12.8%	1,752	6.4%
	小計	197	28.1%	1,657	22.2%	331	15.7%	2,716	8.6%
合計		1,459	16.3%	5,916	18.1%	1,894	4.2%	8,236	3.9%
分譲事業等		119	26.5%	143	-7.7%	-	-	-	-
他		15	41.1%	-	-	-	-	-	-
合計		1,593	17.2%	6,059	17.3%	1,894	4.2%	8,236	3.9%
関係会社等		406	8.3%	-	-	-	-	-	-
総合計		2,000	15.2%	6,059	17.3%	1,894	4.2%	8,236	3.9%

* 2011年度より戸建系中層の一部の商品を戸建系低層に移行(対前年同期比についても前年度に遡り修正)

3. 2011年度予想 用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄: 前年同期比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸建系	低層	2,098	10.3%	7,010	13.9%	2,133	1.8%	7,250	3.0%
	中層	755	18.5%	2,950	16.2%	852	0.6%	3,370	0.0%
	小計	2,853	12.4%	9,960	14.6%	2,985	1.5%	10,620	2.0%
集合系	低層	174	11.1%	1,565	10.1%	232	10.5%	1,970	7.7%
	中層	363	11.4%	3,160	9.5%	418	6.5%	3,475	3.5%
	小計	537	11.3%	4,725	9.7%	650	7.8%	5,445	5.0%
合計		3,390	12.2%	14,685	13.0%	3,635	2.6%	16,065	3.0%
分譲事業 [†]		255	-8.3%	395	3.4%	—	—	—	—
住宅周辺事業等		885	11.6%	—	—	—	—	—	—
総合計		4,530	10.7%	15,080	12.7%	3,635	2.6%	16,065	3.0%

* 2011年度より戸建系中層の一部の商品を戸建系低層に移行(対前年同期比についても前年度に遡り修正)

† 不動産関連事業を統合し旭化成不動産レジデンスを設立したことから、分譲事業は2011年度下期から旭化成ホームズの分譲事業と旭化成不動産レジデンスの開発事業を合計して表示

4. 関係会社損益

(億円)

	10/上		11/上	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
旭化成リフォーム	167	16	178	21
旭化成不動産	198	6	218	7

<概況>

旭化成リフォーム

11年度上期は、震災の影響によるサプライチェーン混乱の影響により期初の完工高が減少したが、太陽光発電など環境対応型商品の受注拡大により上期として過去最高の受注額を達成したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

下期も、引き続き受注の拡大に努め、通期で増収、増益を目指す。

旭化成不動産

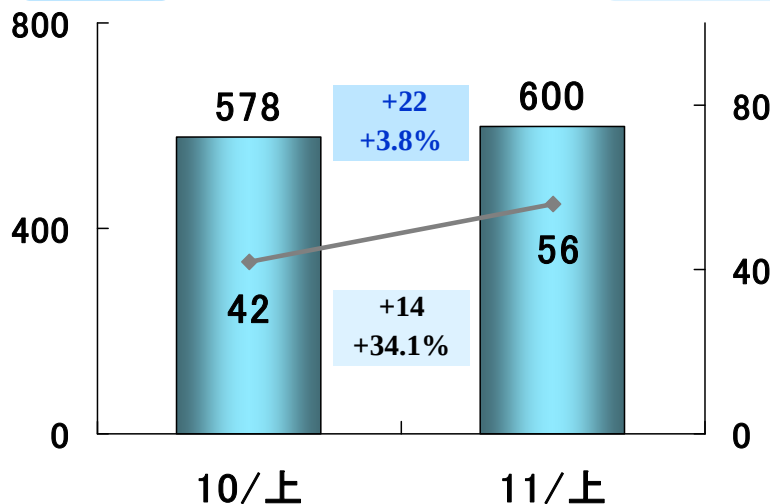
11年度上期は、集合住宅「ヘーベルメゾンTM」の順調な伸びを受けて賃貸管理戸数が増加し、前年同期比増収、増益となった。

2011年10月1日より、旭化成ホームズが手掛けていた開発事業(宅地分譲、マンション分譲等)を旭化成不動産へ統合し、新たに旭化成不動産レジデンスとして営業を開始した。

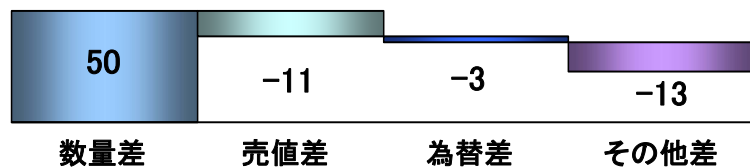
(億円)

<概況>

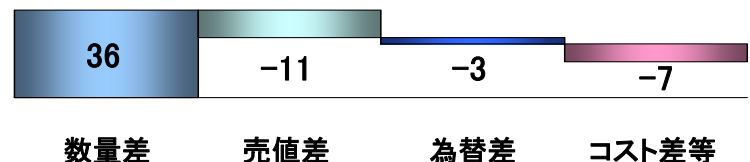
売上高



売上高増減分析



営業利益増減分析



・医薬事業

MR(医薬情報担当者)の増強などにより販売管理費が増加したものの、血液凝固阻止剤「リコモジュリン™」の販売量が大幅に増加したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

・医療事業

各製品が円高や販売価格下落の影響を受けたものの、ウイルス除去フィルター「プラノバ™」の販売量が大幅に増加したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

<トピックス>

- ・排尿障害改善剤「フリバス™」の韓国における販売承認を、韓国の導出先である東亜製薬(株)が取得。(5月)
- ・(株)クラレが保有する旭化成クラレメディカル(株)の全株式の譲受けに合意、2012年4月100%子会社化を予定。(8月)
- ・スイス・アクテリオン社との訴訟において、当社への総額516.6百万ドルの支払いを命ずる第一審判決。(8月)
- ・骨粗鬆症治療薬「テリボン™」の国内製造販売承認取得。(9月)
- ・骨粗鬆症治療薬「テリボン™」の自己投与可能なパッチ製剤開発のため、米国ゾサノファーマ社より技術を導入、来年より臨床試験開始予定。(10月)
- ・医薬研究センター新研究棟の建設を決定。(10月、2013年度運用開始予定)

1. 売上高内訳

（億円）

		10年度		11年度	
		上期	年間	上期	年間見込み
医薬系	医薬	269	554	285	590
	その他	36	58	24	39
	計	305	612	309	629
医療系*		273	551	290	611
医薬・医療 計		578	1,164	600	1,240

* 旭化成クラレメディカル、旭化成メディカル、及びその関係会社の合計。

＜主要医薬品の国内売上高＞

	10年度		11年度	
	上期	年間	上期	年間見込み
フリバス™	68	139	69	142
エルシトニン™	69	134	67	133
リコモジュリン™	16	42	34	78
ブレディニン™	33	65	32	64
トレドミン™	19	35	15	29
エリル™	7	14	6	14

2. 主要医薬品の説明

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型
フリバス TM	ナフトピジル	α 1ブロッカー	前立腺肥大症に伴う排尿障害	錠剤
エルシトニン TM 注 20S エルシトニン TM 注 20Sディスポ	エルカトニン	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤
リコモジュリン TM	トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え)	血液凝固阻止剤	DIC(汎発性血管内血液凝固症)	注射剤
ブレディニン TM	ミゾリビン	免疫抑制剤	関節リウマチ、腎移植、ネフローゼ症候群、ループス腎炎	錠剤
トレドミン TM	ミルナシプラン塩酸塩	セロトニン・ノルアドレナリン再取込阻害剤(SNRI)	うつ病・うつ状態	錠剤
エリル TM	ファスジル塩酸塩水和物	ローキナーゼ阻害剤	くも膜下出血術後の脳血管れん縮及びこれに伴う脳虚血症状の改善	注射剤
ファムビル TM (マルホ株)に販売を委託)	ファムシクロビル	抗ヘルペスウィルス剤	带状疱疹	錠剤

3. 研究開発の状況

		開発コード・剤型 (一般名・「商品名」)	区 分	薬 効・分 類	適 応 症	自社/導入	備考
国 内	承認	MN-10-T注 (テリパラチド酢酸塩・ 「テリボン皮下注用56.5 μ g」)	新投与経路・ 新効能・新用 量医薬品	骨形成促進剤 (副甲状腺ホルモン: PTH)	骨折の危険性の 高い骨粗鬆症	自社	週1回 投与
	フェーズⅢの品目	AK-156注 (ゾレドロン酸水和物)	新効能・新用 量医薬品	骨吸収抑制剤 (ビスフォスフォネート)	骨粗鬆症	導入	年1回 投与
		AK-120錠 (ファムシクロビル)	適応拡大	抗ヘルペスウィルス剤	単純疱疹	導入	
	フェーズⅡの品目	AT-877錠 (ファスジル塩酸塩水和物)	適応拡大 剤型追加	ローキナーゼ阻害剤	肺高血圧症	自社	
		AK150注 (ポリ硫酸ペントサンナトリウム)	新成分新薬	変形性関節症治療剤	変形性関節症	導入	
海 外	フェーズⅡの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	新成分新薬	血液凝固阻止剤	DICを伴う敗血症	自社	
		AK106	新成分新薬	抗炎症剤	関節リウマチ	自社	

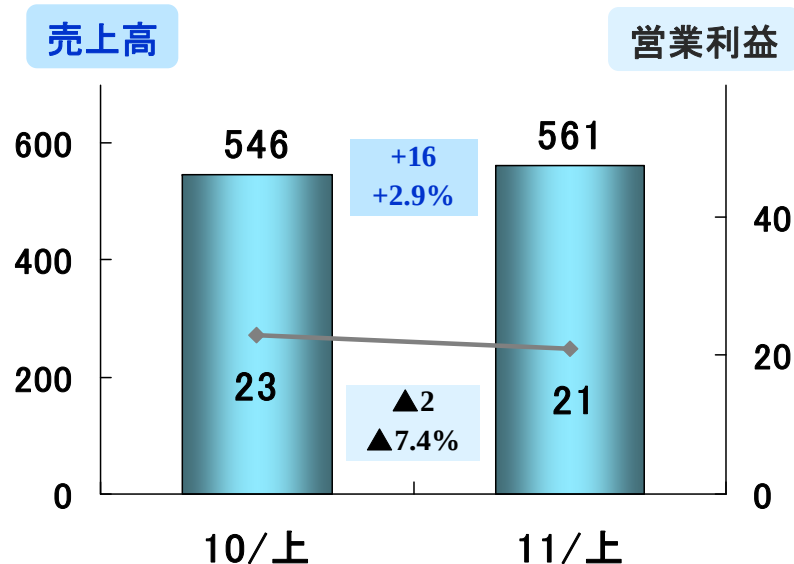
探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科領域や泌尿器領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

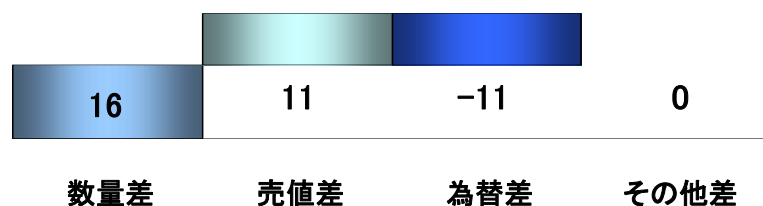
<概況>

ナイロン66繊維「レオナ™」のタイヤコード用途や再生セルロース繊維「ベンベルグ™」の裏地用途などの販売が好調に推移したものの、各製品が原燃料価格高騰や円高の影響を受け、前年同期比増収、減益となった。

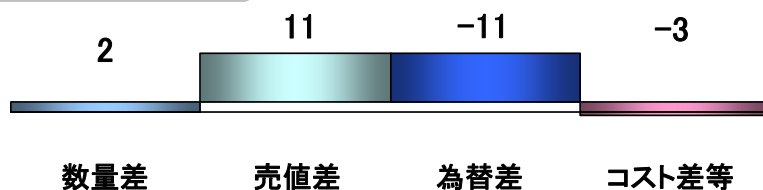
(億円)



売上高増減分析



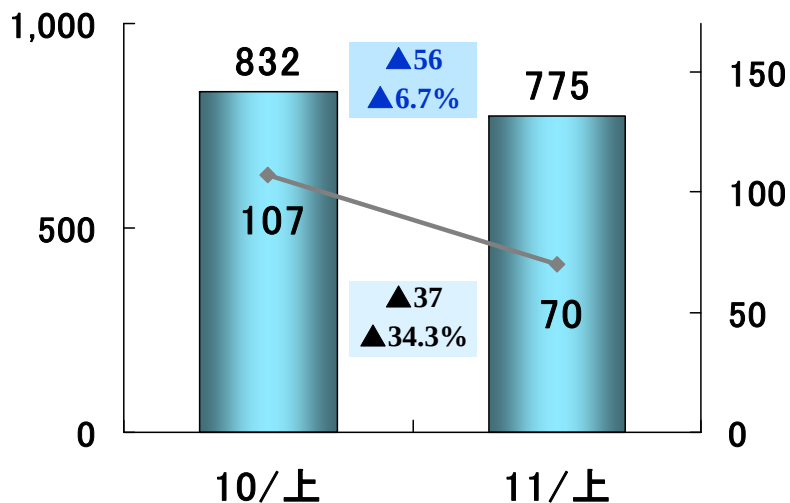
営業利益増減分析



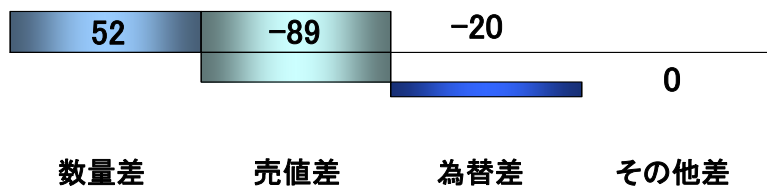
(億円)

売上高

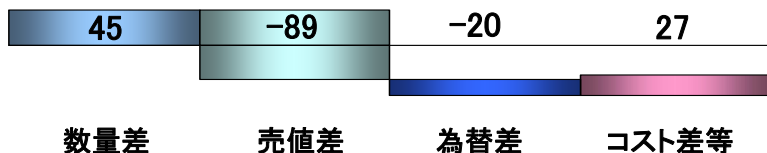
営業利益



売上高増減分析



営業利益増減分析



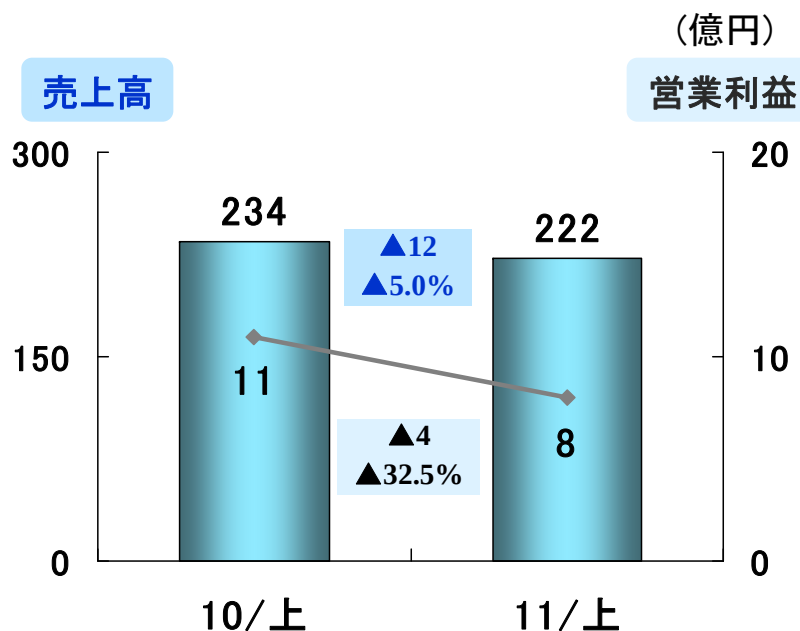
<概況>

・電子部品系事業

スマートフォン向けミクスドシグナルLSIなどの販売が好調に推移したものの、販売価格の下落や円高の影響を受けたことなどから、前年同期比減収、減益となった。

・電子材料系事業

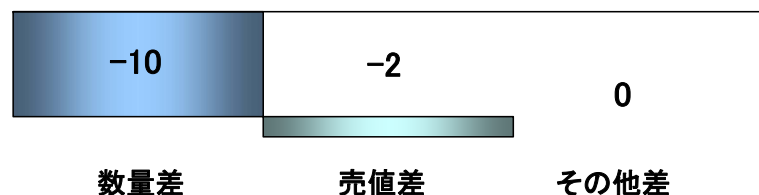
リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポアTM」の販売量が増加したものの、販売価格の下落や原燃料価格高騰の影響を受けたことなどから、前年同期比減収、減益となった。



<概況>

構造資材事業が堅調に推移したものの、東日本大震災の影響により、茨城県のフェノールフォーム断熱材「ネオマTMフォーム」や軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベルTM」の工場が一時操業停止となったことや、各事業で建築工事の中断・延期の影響を受けたことなどから、前年同期比減収、減益となった。

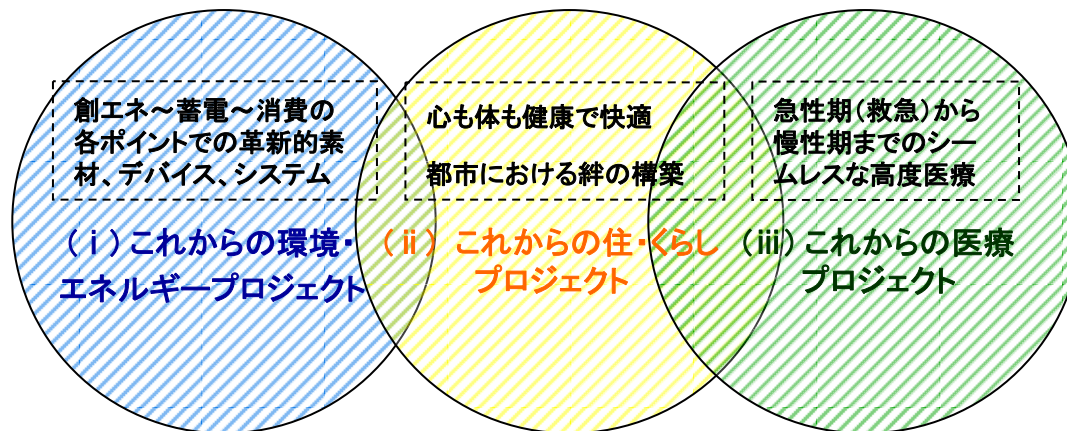
売上高増減分析



営業利益増減分析



＜3つのグループ融合プロジェクト＞



＜トピックス＞

- ・米・ゾール・メディカル社とAED(自動体外式除細動器)の日本における独占的販売に関する契約を締結し、AEDの発売を開始。クリティカルケア(救命救急医療)分野へ事業を展開。(8月)
- ・テラ(株)とがん治療を目的とした細胞プロセッシング装置の共同研究開発を開始。(9月)
- ・次世代の蓄電デバイスであるリチウムイオンキャパシタ(LIC)事業について、FDK(株)と合弁会社を設立。両社の技術を融合し、製品開発力と供給力の一層の強化を図る。(10月)

業績予想の適切な利用に関する説明、 その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。